

第 1 回 定 例 会 (令和 7 年 3 月 4 日から 3 月 21 日まで)

第 1 回定例会（3 月定例会）は、令和 7 年 3 月 4 日に開会され、会期を 3 月 21 日までの 18 日間と決定し、全議案議了した後、19 日に閉会しました。

初日は、町長の施政方針演説後、発議 1 件、諮問 1 件、専決処分 1 件、人事案件 19 件、その他案件 1 件を審議し、可決、承認、同意しました。その後、25 議案を一括上程し、各常任委員会へ付託しました。

19 日には当日追加された人事案件 1 件、発議 1 件、各常任委員長の報告の後、付託された案件と追加議案を含め、条例制定 5 件、条例改正 9 件、規約変更協議 1 件、補正予算 5 件、当初予算 6 件、その他 1 件の 29 件を審議し、同意、可決しました。

一般質問では 6 人の議員が通告に基づき、それぞれ町政に対する質問、提言を行いました。

発 議

- 再審法改正を求める意見書（案）・・・可決
- 人権保障を担う保育・障害・介護現場で働く職員自身の人権が護られ、働き続けられる福祉職場にするために賃金の引き上げと職員増員のための財政措置を求める意見書（案）・・・可決

諮 問

- 人権擁護委員候補者の推薦・・・芝崎浩氏（上野）を適任と答申

議 案

- 専決処分（令和 6 年度御浜町一般会計補正予算（第 5 号））・・・承認
 - △歳入歳出予算の総額 65 億 1,761 万 5 千円
- 御浜町農業委員会委員の選任（19 件）・・・同意
- 消防車の更新に係る財産の取得・・・可決
- 御浜町副町長の選任・・・東地正登氏（下市木）の選任に同意
- 御浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正・・・可決

- 御浜町職員の育児休業等に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町職員の給与に関する条例等の一部改正・・・可決
- 現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正・・・可決
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定・・・可決
- 御浜町犯罪被害者等支援条例の制定・・・可決
- 御浜町消防団員等公務災害補償条例の一部改正・・・可決
- 御浜町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正・・・可決
- 御浜町立尾呂志診療所設置条例の制定・・・可決
- 御浜町立尾呂志診療所使用料及び手数料条例の制定・・・可決
- 御浜町立尾呂志診療所事業特別会計条例の制定・・・可決

- 御浜町河川管理条例の一部改正・・・可決
- 辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更
・・・可決
- 紀南介護広域連合規約の一部変更に関する協議
・・・可決
- 令和6年度御浜町一般会計補正予算（第6号）
・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 65 億 3,402 万 3 千円
- 令和6年度御浜町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 12 億 2,955 万 3 千円
- 令和6年度御浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 3 億 800 万円
- 令和7年度御浜町一般会計予算・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 69 億 8,200 万円
- 令和7年度御浜町国民健康保険特別会計予算
・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 12 億 2,448 万 3 千円
- 令和7年度御浜町後期高齢者医療特別会計予算
・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 3 億 1,208 万 1 千円
- 令和7年度御浜町立尾呂志診療所事業特別会計
予算・・・可決
 - 歳入歳出予算の総額 3,486 万 9 千円
- 令和7年度御浜町水道事業会計予算
・・・可決
 - ㊦収益的収入の予定額 2 億 1,687 万 1 千円
 - 収益的支出の予定額 2 億 1,571 万 9 千円
 - 資本的収入の予定額 1 億 3,151 万 5 千円
 - 資本的支出の予定額 2 億 3,683 万 8 千円
- 令和7年度御浜町下水道事業会計予算
・・・可決
 - ㊦収益的収入の予定額 1 億 7,315 万 9 千円
 - 収益的支出の予定額 1 億 8,203 万 4 千円
 - 資本的収入の予定額 3,939 万 2 千円
 - 資本的支出の予定額 1 億 777 万 8 千円
- 令和6年度御浜町一般会計補正予算（第7号）
・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 61 億 1,632 万 4 千円
- 令和6年度御浜町後期高齢者医療特別会計補正
予算（第3号）・・・可決
 - ㊦歳入歳出予算の総額 3 億 1,964 万円

その他の活動

議会運営委員会

令和7年2月20日

協議事項

1. 第1回定例会について

- ①定例会等の日程及び上程議案の審議日程等の協議

全員協議会

令和7年2月26日

協議事項

- ①御浜町立尾呂志診療所について

説明事項

- ①刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ②御浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について
- ③御浜町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
- ④御浜町犯罪被害者等支援条例の制定について
- ⑤消防車の更新に係る財産の取得について
- ⑥御浜町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- ⑦御浜町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑧辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ⑨物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する事業（推奨事業）について
- ⑩御浜町町税条例等の改正概要について
- ⑪御浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ⑫御浜町水道事業経営戦略の改定について
- ⑬御浜町河川管理条例の一部を改正する条例について
- ⑭令和7年度御浜町中央公民館改修工事について

報告事項

- ①志原地区津波避難タワーについて
- ②第6次御浜町総合計画後期基本計画策定に係る進捗状況について
- ③御浜町行財政改革大綱（案）について
- ④認定こども園阿田和保育園移転に係る進捗状況について
- ⑤御浜町物価高騰対応重点支援給付金（住民税非課税世帯3万給付、及びこども加算）について
- ⑥「御浜町立小・中学校適正配置基本計画（最終案）」について

総務産業常任委員会

令和7年3月11日

審査事項

1. 付託された13件の議案の審査
担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、審査の最後に討論・採決を行いました。

教育民生常任委員会

令和7年3月13日・14日

審査事項

1. 付託された14件の議案の審査
担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、審査の最後に討論・採決を行いました。

教育民生常任委員会研修

令和7年1月23日

- ①度会町役場
 - ・小中学校統合における取組等について
- ②伊勢市立二見浦小学校・二見中学校
 - ・事業概要説明
 - ・校舎見学

総務産業常任委員会研修

令和7年2月12日～14日

- ①愛知県東栄町
 - ・東栄駅の建設等について
 - ・東栄駅（ふるさと交流館）の運営等について

②静岡県小山町

- ・複合観光施設開発事業について
- ・富士小山次世代施設園芸事業による大規模農業について

御浜町地域活性化調査研究特別委員会

令和7年2月3日

協議事項

1. タブレットの活用について

令和7年3月19日

協議事項

1. 地域の皆さんと議会との懇談会の実施について

議会だより特別委員会

令和7年1月24日

協議事項

1. 議会だより第127号について



二見浦小学校・二見中学校



静岡県小山町

表彰

全国町村議会議長会において、宇戸平正敏議員が、町議会議員として満 27 年以上の在職者として自治功労者表彰されたことから、本会議の冒頭に伝達式が行われました。



〈表彰を受ける宇戸平正敏議員〉

令和 7 年第 1 回定例会 一般質問通告書（通告順）

1. 野地本 隆議員

- ①防災対策について
- ②認定こども園阿田和保育園について
- ③寺谷公園の環境整備について

3. 池上 勝生議員

- ①学校建設等の大型プロジェクトについて
- ②令和7年度の当初予算について
- ③阿田和駅舎について

5. 宇戸平 正敏議員

- ①尾呂志診療所の運営について
- ②国営パイロットの未植園地について
- ③岩手県大船渡市の山林火災の教訓を受けて

2. 宇城 公子議員

- ①新校舎完成後の旧学校施設について
- ②J R 阿田和駅の駅舎建て替えについて

4. 世古 正議員

- ①命を守る防災・減災対策について
- ②不登校問題について
- ③地域医療の確保と対策について

6. 高岡 洋議員

- ①令和7年度、町長の施政方針について
「保育所職員の退職状況について」
「地域創生とミカン産地再生について」
「商工観光とイベントのあり方について」

議会の概要と一般質問について

住民の皆さまより、議会の開催時期や、一般質問の順番、おこない方等について、質問をいただくことがよくありますので、今回は**議会の概要と一般質問**について書かせていただきます。

町議会は、町民による直接選挙で選ばれた議員によって構成され、**町の条例の制定・改定・廃止、予算の決定、決算の認定など町政の重要な事項を審議、決定する役割を担っています。**

現在の御浜町議会の議員定数は10人、議員任期は令和3年12月2日から令和7年12月1日までの4年間です。(本年11月に任期満了に伴う町議会議員選挙がおこなわれます。)

本会議には、定期的にかれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があり、**定例会は年4回開かれます(3・6・9・12月)**。御浜町議会では、定例会前に町執行部の事業計画や予算案について事前説明を受け、協議をおこなう「**議会全員協議会**」を開催し、本議会・一般質問での議論を深める取り組みをおこなっています。

委員会には、「**常任委員会**」「**議会運営委員会**」「**特別委員会**」があります。

常任委員会には、「**総務産業常任委員会**」と「**教育民生常任委員会**」があり、所管事項の調査や議案・請願等の詳しい審査を行います。

議会運営委員会は、会期日程や議案の取扱い等の議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項について、審査を行います。

特別委員会は、特定の事項について調査や審査が必要な場合に、議会の議決により設置され、**現在「御浜町地域活性化調査研究特別委員会」が設置されています。**

一般質問は、定例会開会後に、**質問をおこなう議員より「通告書」が提出され、質問の順番は、通告書提出時に「新井式回転抽選器」(通称;ガラポン)を回して、若い番号が出た順に決定します。**

質問方式は、「**一括質問一括答弁方式**」か「**一問一答方式**」を選択でき、持ち時間90分間で、議員側からの質問に対し、町長はじめ執行部側より答弁がなされ、答弁に対し、さらに質問や議員側からの提案をおこなって議論を深めていきます。

一般質問をおこなうか、おこなわないかは各議員が決め、おこなう議員は、執行部側から示される事業計画や予算案に対する質疑や、日ごろの議員活動で住民の皆さんからいただく町行政に対するご意見やご提案、議員本人が考える町の活性化策や課題解決策等を「通告書」にあげ、一般質問に臨みます。

3月議会では、野地本・宇城・池上・世古・宇戸平・高岡の6議員が一般質問をおこない、防災減災対策や小中学校の統合に向けた町の取り組み、JR阿田和駅駅舎建て替えに対する町の対応、大畑町長が示した令和7年度施政方針演説に対する質問等、活発な議論が交わされました。

本会議はどなたでも傍聴できます。今回は小さな子どもさん連れのお母さんはじめ、関心のある一般質問時にグループでお越しいただいた方もおられました。

これからも多くの方に傍聴にお越しいただけるよう、開かれた議会運営をおこなって参りたいと存じております。



御浜町議会議長 山本 章彦

一般質問

防災対策について

一 防災対策について

住宅の耐震化や家具固定について

質問 南海トラフ地震の三十年以内の発生率が引き上げられ、耐震化が重要な中、町の補助制度の利用でどれくらい耐震化や家具固定が進んでいるのか。

答弁 制度開始前より、耐震化率も上昇している。また、耐震シエルターなどの設置の補助にも取り組んでいる。引き続き、広報や自主防災組織、各学校や各種団体へ家具固定等必要性の周知啓発をしていく。

質問 食料品・日用品の備蓄はどのようになっているのか。また、南海トラフ地震が発生した場合、被災が広範囲になるため、

救助はもとより救援物資もいつ届くのかわからない状況になると思う。そこで町の備蓄はどのようなになっているのか。

答弁 発災から最低二日が三日間に必要な補充できる備蓄がある。四日目を降は国のプッシュ型支援による対応。今後、国や県が示す指針や想定により、備蓄計画を含む各種計画の見直しも行っていく。

質問 高潮対策として無堤防区間の進捗状況について、山地・阿田和間二・六キロは、以前から要望しているがその後は。

答弁 阿田和クリーンセンター前の尾呂志川堤防については、来年度中には完成予定。山地・阿田和間についても引き続き県に対して強く要望していく。

御浜町に設置している地震計について

質問 地震が起きた時、熊野市や紀宝町より震度が低い場合がある、地震計の設置環境は十分なのか。

答弁 「津気象台から設置場所には問題がない。」と回答があり、震源の場所や地質地形などによっても異なることから、周辺市町とは震度が異なる場合が生じる。地震速報や津波速報など発表時には自身の命を守る避難行動をとるよう周知徹底していく。

二 認定こども園阿田和保育園について

移転事業等今後の計画について

質問 2027年9月の開園を目標に準備しているということですが、進捗状況は。

答弁 基本設計実施設計などに着手したところ、用地測量、開発許可申請、敷地の造成工事をし、令和八年三月に新築工事に係る入札、令和九年七月に完成予定、そして同九月に開園予定です。

質問 周辺道路の整備について、移転後の保育園に通じる市木阿田和線の道路が狭く道路状況が悪いため、移転前に対策をしては。

答弁 全面拡幅は難しいため、待避所を設置予定。

質問 寺谷公園の環境整備について、以前にも質問しました「携帯電話が繋がるか」ということで基地局について要望しているが、その後どのようなになっているのか。



野地本 隆 議員

答弁 問題解決に向けた要望活動を継続していく。

三 桜の木等ライトアップについて

質問 寺谷公園ではクマノザクラの名所に苗木を植樹しました。桜の名所夜桜見物として観光地にライトアップをしては。

答弁 寺谷公園は照明施設がないため夜間の利用を想定していない。大規模な臨時照明施設や安全対策が必要になることから、昼間の鑑賞をしていただきたい。



一般質問

新校舎完成後の旧学校施設について

質問 御浜小学校、阿田和小学校、神志山小学校、御浜中学校、阿田和中学校。

この五つの各学校の利活用計画はあるのか。町の大切な財産として早い段階から利活用計画を立てるべきであると考えます。町長のお考えをお聞かせください。

今後の施設の利活用においてのチェックリストを作り、各学校がどのような利用に適用しているのかを調査し始めておく必要があります。

卒業生の意見を聞いてみる。ふるさとを離れて活躍中の人に声をかけてみる。今学校に通っている児童生徒たちに、その保護者の皆様に見て・アイディアを出してもらう。



ぎょ い こうざくら
御衣黄桜

例えば

- ① 体育館施設の利用時間の拡大による健康増進
 - ② 運動場の開放による公園数の確保
 - ③ 図書室の連携での居場所づくり
 - ④ 避難所
 - ⑤ 備蓄倉庫
 - ⑥ ゲストハウス
 - ⑦ キャンプ場
 - ⑧ ・ ・ ・ e t c ・ ・ ・
- ※皆さんも是非、考えてみてください。

答弁 新しい小、中学校

の校舎建設に向けた取り組みについては、各課が連携した全庁的プロジェクトとして組織体制を整え、新校舎完成に向けて、その進捗状況に応じた適切な対応を取っていく。

新校舎完成後の跡地の利

用についても、スケジュールを定め、検討していきたい。

意見 プロジェクトの中に住民の声を受け入れるチームを作ってほしい。熱い思いから出てくる提案を大切に扱うべきである。



JR阿田和駅の駅舎建て替えについて

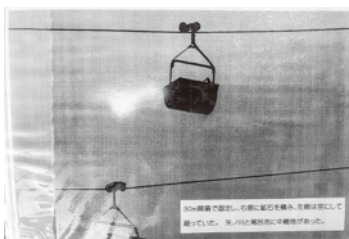
質問 町が本年度中にJRに回答する内容について、どのような回答をするのか、お示しください。私の9月の一般質問の中で町長は、みんなの意見を聞いて検討したいと言われましたが、十分に聞く機会があったのか、お聞きします。

答弁 現時点では町において具体的な計画等がないことから、JR東海による駅舎の撤去と建替えを希望する旨の回答を予定している。

ただし、駅舎跡地を町において活用することを望む住民の皆様の声があることも承知しているので、将来、町が駅舎跡地を活用する考えがあることについても、JR東海に対し伝えたいと考えている。



宇城 公子 議員



(板屋から阿田和駅まで入鹿鉾山の鉾石を運ぶ索道) 昭和16年～昭和43年頃



一般質問

新校舎の建設に伴い、将来、起こりうる様々な課題に対応すべき組織を立ち上げるべきではないですか

一 学校建設等の大型プロジェクトについて

【質問】

(一) 令和12年度開校予定の小中学校統合による新校舎建設について、どのような体制で工事を進めるのですか

【答弁】

各課が連携した全庁的プロジェクトとして組織体制を整え、新校舎完成に向けて、その進捗に応じた適切な対応を取っていきます。組織は町長直轄のプロジェクトとして位置づけ、新校舎の建設、用地調整、農業振興地域調整、新校舎の機能強化など、具体的な作業に応じてチームを編成いたします。

【提案】

新校舎の建設に伴い課題となる

○ 廃校となる五つの校舎の取扱い。

○ 山間部における加速的人口減対策

そして、新校舎周辺での町づくりについても、プロジェクトを通じて対応することを提案します。

【質問】

(二) 令和9年9月開園予定の阿田和保育園の建設について

【答弁】

認定こども園阿田和保育園の移転、建築については、健康福祉課に技術職の職員がいないことから、三重県建設技術センターの支援を受けながら進めており、令和7年度からは建設課と連携して技術的な協力体制を進めます。

また、道路整備、交通安全などについて、関係課と横断的な連携を図るとともに、

に、移転後の敷地の残地や跡地利用についても、工事の進捗を考慮しながら進めます。

【要望】

建設予定の保育園については、例えば、地域交流型の保育園、自然農園を活かした保育園、デジタルを用いた保育園など今までにないような魅力ある保育園を是非とも建設して欲しい。

また、建設費として、七億円を計上しています。七億円の負担を軽減するため、交付税措置がある起債の活用について、国への働きかけを要望します。

二 令和7年度の当初予算について

【質問】

(一) 令和7年度の当初予算については、町債が昨年に続き増加し、基金残高が減少しています。今後この状況が続くのではないかと懸念しています。財政の見通しについてどのように考えていますか

【答弁】

令和7年度の当初予算案は、一般会計で69億8,200万円で、御浜町における過去最大規模です。人



池上 勝生 議員

口減少や少子高齢化など厳しい状況の中で、地域課題の解決に向けて積極的かつ果敢に取り組む内容の予算です。また、大型プロジェクトが進行する中において大変厳しい局面を迎えることも予想されます。安定的な行政運営の実現のためには、事務事業の見直しに着手し、業務の効率化を進めながら財政基盤の強化を図る必要があると強く感じています。

【要望】 厳しい財政状況が続きます。節減できることは、切り詰めて、健全な財政運営に心掛けて欲しい。また、財源を獲得するため、ふるさと納税に力を入れることを要望します。

三 阿田和駅舎について

【質問】

(一) 跡地活用を求める住民

の声が高まっています。町として駅舎の有効活用を推進すべきと考えますが、町長の考えは

【答弁】

今後は、JR東海による駅舎の撤去、建替えが進められる一方で、町として駅舎跡地活用に係る住民の皆様の声を引き続きしっかりと聞いた上で、改めて町の考えをまとめたいと思います。

【要望】

建替えに係る費用は国からの交付金、施設の運用はボランティアなどが支援すれば、町の負担は軽減できると思います。

若者、特に高校生の居場所・意向を考え、町民から

○ 駅名

○ 施設の使用目的

○ 運用・管理者

などについて、広く案を募集・集約して、複合的駅舎の建設を要望します。



命を守る防災・減災対策について

木造住宅耐震化の実態について

質問 能登半島地震で死亡した人の四割は家屋の倒壊による圧死となっている。御浜町内では耐震基準をクリアしていない建物が八百六十棟以上あり、旧建築基準法で建てられた、昭和五十六年以前の建物に対する耐震対策の現状はどこまで具体化しているのか報告を求める。

答弁 平成十五年から進めている木造耐震化に関する取り組みの実績は、耐震診断は三百九十四件・耐震補強は二十四件・耐震強度の低い建物の解体は九十七件となっています。

令和七年度から耐震補強に対する補助金を増額し一件当たり最大百五十七万円に引き上げている。

避難時として指定している学校体育館の空調整備を

質問 災害発生時避難所となる体育館等に災害関連死を防ぐためにも空調設備の設置は重要課題である。国の各種の補助制度を活用すれば町の負担は、現在目標数値以上を三割程度で設置でき、子どもたちの学校生活や災害発生時の災害関連死をなくすためにも体育館の冷暖房化を早急に進めることを強く求める。

答弁 体育館避難所の空調設備は必要と考えておりますが、重要課題とし位置づけ本町に最も適した形で設置を進めていきたいと考えている。



避難所の衛生環境の整備について



質問 避難者の健康を維持する上でも、また、安心安全な避難所運営を進める上でも、これまでの全国の大規模災害の避難所運営で一番問題となるのがトイレの問題と言われている。水環境を含め対策をどのように考えているのか。

答弁 能登半島地震による避難生活において、トイレ問題の重要性が再確認されたところであります。本町は災害時備蓄計画において、災害時に必要な仮設トイレなどの備蓄目標を設定し、現在、目標数値以上を備蓄しています。

不登校となっている子どもたちへの対策と対応は



議員 正 世古

質問 昨年十月時点で文部科学省の調査でも、全国で約三十四万六千人の不登校の実態が確認されているが、御浜町でも昨年度十九名の子どもたちが不登校として確認されている。一人一人に寄り添った対策と対応はどのように進めているのか。

文科省の不登校の子どもたちに対する個別調査では、学校に行きづらいと感じた理由の一番に、先生との関係が小学校で三十％、中学校で二十八％と発表されている。「こども基本法」や「子どもの権利条約」を基本に据えた対策対応が求められるがどのように考えているのか。一人一人の現

場の先生がしっかり子どもたちに向き合える時間や人的確保が必要と考えているが、教育行政として問題解決の根本問題に目を向けた具体的対応を求める。

答弁 令和五年度に施行された「こども基本法」の目的、理念に基づき子どもたちの思いを大切にしながら、各関係者が連携し生徒の学びの場が保証されるよう、各取り組みをしっかりと支援していきたいと考えている。

また、アレルギーで給食を食べられない子どもには今年度より給食費相当分を支援いたします。さらに給食費無償化制度がスタートしていますので、不登校の子どもたちに対しても給食費相当分を支給できないか検討してまいります。



一般質問

尾呂志診療所の運営について 国営パイロットの未植栽園地について 岩手県大船渡市山林火災の教訓を受けて

尾呂志診療所の運営について

質問 医師の公募の状況は。

答弁 診療所の早期再開のため、公募を開始しました。御浜町のホームページ、三重県のホームページ、県内医療機関求人サイト三重医報です。3名の問い合わせがあったが民営方式による希望はされなかったため、民営から公営方式に変更することにしました。3名の医師については連絡がとれる状況。既に連絡を取った経緯もあります。

質問 開所にあたっての町長の熱意を聞かせてください。

答弁 尾呂志診療所は僻地診療ということでしょうか。運営することができるよう、誠心誠意、医師確保に努めていきます。1日でも早い再開ができるよう全力で取り組んでまいります。



(尾呂志診療所)

国営パイロットの未植栽園地について

質問 未植栽園地の広さや管理されている園地を今後どのようにしていくのか。

答弁 国営パイロット約307haの内、未植栽面積は74haあります。未植栽園地の再利用については、農地の流動化を目的とした町農地バンク制度の運用や集落支援員制度を活用した新規就農者のための荒廃園地の再整備を実施しています。

令和7年度から三重県やJAなどの関係機関と連携し、担い手が希望する園地を再整備する取り組みを行う予定です。



引き続き、未植栽の園地の再利用に向けて担い手の確保や獣害対策の支援に取り組めます。



宇戸平 正敏 議員

岩手県大船渡市山林火災の教訓を受けて

質問 山林火災が起きた際の町の対応を教えてください。

答弁 消防業務は熊野市消防本部に委託しているため、消防本部の総合的な判断基準で対応する。

意見 町民の生命と財産を守るためにも、町単独でマニュアルなどを整備するべきである。



一般質問

町長は、御浜町の最高責任者として職務怠慢！
K-カード商品券よりオレンジ商品券が公平！
「みかん祭り」も「浜祭り」もみません！

保育士や調理員の退職率が尋常ではない。保育園では、定年退職者を除き、正職員・臨時職員・調理員が5年間で20人退職している。その内調理員は12人が退職し異常な状態です。

質問 現在、園児は保育士と一緒に給食を食べながら食育を受けられない環境です。志原保育所では、調理員4人体制のところ、2年前から2人体制です。町長は園内の環境を整える職責を放棄し職務怠慢ではないか。

回答 早速に4人体制に戻したい。早期に改善したい。

令和2年～4年間 退職者数
(定年退職を除く)

正職保育士	3人
臨時保育士	5人
調理員	12人

質問 保育園の主役は園児です。志原保育所の調理員が不足だから阿田和保育園も保育士と給食を食べながらの食育を受けさせないという考えが理解できない。なぜですか？

回答 その対応につきましては、保育士全員と十分話し合いを持って、保育士の了解を得て、課長、参事両園長に相談して決定した。

人権が尊重され、ハラスメント等は絶対に許されない時代に会議資料を見てビックリ！

質問 「園内の情報は一切、口外しないこと等」「特定されたら処分されます。」時代遅れの職場環境で風通しが悪いと感じる。町長はどう思うか？

回答 個人情報守秘義務があるので一般的なことだと思う。



令和6年11月保育園の所長会議資料から

個人情報の守秘義務を徹底する。

- ・園内の情報は一切口外しないこと。
- ・子どもの発達など。
- ・子どもだけでなく、職員や園内のことも口外しない。
- ・特定されたら処分されます。



高岡 洋 議員

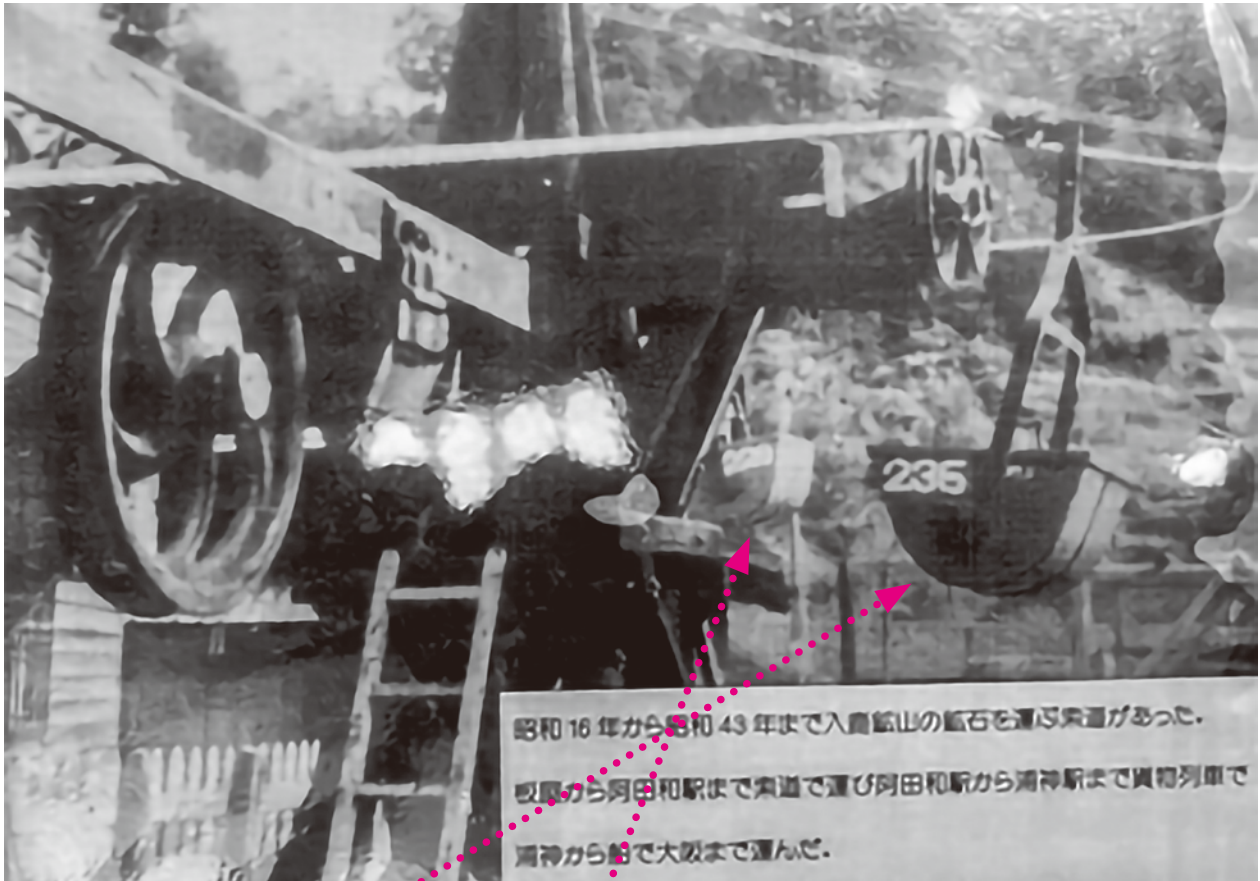
使用できる事業者が限定されるK-カード商品券よりも町内事業者全てで利用できるオレンジ商品券を望む。町民の大事な税金です。平等公平に使うこと！

質問 健康ポイントで町から頂くK-カード商品券は加盟店だけしか使用できない。公平性に欠ける税金の使い方ではないか？

回答 平等性は担保したいと考えます。



議員の一押し写真



昭和16年から昭和43年まで入鹿鉾山の鉾石を運ぶ索道の写真です。

30m間隔で固定し、右側に鉾石を積み、左側は空にして回っていました。

板屋（現熊野市紀和町）から阿田和駅までありました。矢ノ川（現熊野市紀和町）と尾呂志に中継地がありました。

（宇城公子議員よりご提供いただきました。）

～議会を傍聴してみませんか～

本会議はどなたでも傍聴できます。傍聴席は一般席が18席、車椅子で傍聴できるスペースが2台分あります。

傍聴を希望される方は、役場庁舎3階の傍聴受付で、住所・氏名を記入のうえ入場してください。

※定例会など本会議の様子は、御浜町公式ホームページ『議会録画中継』でご覧いただけます。



編集／御浜町議会だより特別委員会

委員長	宇城 公子
副委員長	高岡 洋
委員	池上 勝生
委員	南 州計

発行／三重県南牟婁郡御浜町議会
発行責任者／山本 章彦

〒519-5292

三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和6120番地1

TEL 05979-3-0524 FAX 05979-2-3502

E-mail m-gikai@town.mihama.mie.jp